



# 医療福祉・在宅看取りの 地域創造会議 通信 第34号

(H28/3/31)



平素は、「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」へのご理解・ご協力ありがとうございます。

別れと出逢いの春ですね。暖冬の影響で春が来た♪という感じはしない2016年です。

最近ネットニュースで「滋賀県が作った石田三成のCMがすごすぎる」と話題になっていました。

NHK大河ドラマ『真田丸』の主人公・真田信繁（幸村）にとって、重要な存在となる戦国武将・石田三成。ドラマをきっかけに、三成を掘り下げるプロジェクトを滋賀県が発足。その武将CMがネット上で話題になっていました。

第2弾も公開されるようで、ますます滋賀県の注目度も上がりそうですね。

## 第44回ワーキング会議(3/22)

滋賀県庁 北新館中会議室

初参加 2名を含む 27名で行いました。

岡戸さんからの地域包括支援センターの役割を聞いて、どう感じましたか？

- ・今まで地域包括支援センターを知っているようで知らなかった。
- ・県民はどこでなにを相談していいのかわかっていないと思う。
- ・ケアマネと繋がっていたら地域包括支援センターと関わることはない。
- ・困った人が一番最初に相談するところ。
- ・地域包括の数は増えているのか人材はいるのか？  
経験を積んだ人という条件が難しいかも？
- ・地域包括の業務が広すぎて対応できているのかが疑問。
- ・人と人を繋げる地道な作業が必要。
- ・地域包括=よろず相談所→ケアマネや職員の資質やネットワークの  
差が対応の差になる。
- ・介護保険料を払っているのに知らなかった。



住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムのために、何が課題でしょうか。何が必要でしょうか。

- ・地域包括ケアシステムをうまく繋げていない。
- ・住民が頼りすぎていることも？
- ・訪問看護のヘルパーのなり手が少ないのは施設での介護ヘルパーより責任が重いからでは？
- ・在宅医が少ない。
- ・利用者としてはシステムの理解が充分には難しい。

(必要なこと)

- ・人の死を身近に感じられないので実感がわかない。
- ・どんな支援ができるのかそれを支えるのは誰か？
- ・セラピストの関与。
- ・作業療法士で地域で活躍する人は少ないが生活に関わってもらおうようにする。
- ・在宅と病院のふりわけサポート。
- ・いろいろな職種・立場の人の相互理解。

次第

- ☆あいさつ・報告・連絡事項
- ☆「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」  
28年度の活動について  
次回ワーキンググループ会議の予定

- ☆話題提供・意見交換  
「地域包括支援について」  
岡戸 佳恵美さん  
(大津市・膳所あんしん長寿相談所)



平成27年度最後のワーキンググループ会議となる今回は、改めて「地域包括支援」をテーマにしました。  
地域包括支援センターには、介護、福祉、健康、医療など様々な分野から総合的に高齢者とその家族を支え、医療介護連携のカギとなる役割がありますが、その幅広さに実際にどのようなところなのかイメージしにくいかもしれません。「どんな職員さんがいるの?」「どんなことをしているの?」など、膳所あんしん長寿相談所の役割を聞いて、分野を越えた必要性について考えました。

今後のワーキンググループ会議の予定

4月21日(木) 18:30~  
滋賀県庁 北新館 5A会議室

会員の方には、メールで出欠のご確認をいたします。

初めて参加をご希望される方は、前日までに、事務局までご連絡ください。

よろしくお願いいたします。

28年度

滋賀の医療福祉福祉を守り育てる

県民フォーラム

平成28年11月26日(土)

ピアザ淡海



医療福祉・在宅看取りの地域創造会議

運営事務局

(滋賀県庁 医療福祉推進課内) 笹山・橋本

TEL:077-528-3581

FAX:077-528-4851

E-mail:info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp

